

令和2年7月期 定例教育委員会議・会議録

- ・開催日時 令和2年7月29日(水)
午前10時00分から午後4時00分まで
- ・開催場所 羽曳野市役所 別館3階 会議室
- ・出席者 教育長職務代理者 金 銅 真 代
委 員 多 田 謙 司
委 員 新 熊 和 彦
委 員 奥 野 貞 一
- ・説明者 教育次長 高 井 基 晴
学校教育室長 東 浩 朗
生涯学習室長兼
世界遺産・文化財総合管理室長 上 野 敏 治
学校教育室副理事 渡 辺 正 治
学校教育課長 前 田 幸 章
社会教育課長 田 中 記久子
学校教育課課長補佐 伊 藤 圭
学校教育課課長補佐 井 上 直 也
教科書選定委員長 播 野 良 実
教科書選定副委員長 南 良 治
- ・事務局 教育総務課長 小 川 有紀子
教育総務課主幹 芝 池 淳 子
- ・議事日程
 - 日程第1 会議録署名委員の指名について
 - 日程第2 議案第13号
令和3年度使用小学校教科用図書の採択について
《資料1》
 - 日程第3 議案第14号
令和3年度使用中学校教科用図書の採択について
《資料2、3、4》

- 日程第4 議案第15号
羽曳野市立児童館運営委員会委員の選任について
《資料5》
- 日程第5 議案第16号
令和2年度羽曳野市市民表彰候補者の推薦について
《資料6》
- 日程第6 議案第17号
後援名義の使用許可について
《資料7-1、資料7-2》
- 日程第7 その他
・日程調整など

開会：午前 10 時 00 分

[教育長職務代理者 開会の挨拶]

日程第 1 会議録署名委員の指名について

教育長職務代理者において、奥野委員を指名しました。

日程第 2 議案第 13 号

令和 3 年度使用小学校教科用図書の採択について

《資料 1》

●学校教育室長より、資料に基づき、令和 3 年度使用小学校教科用図書の採択について説明があり、承認を求めました。

《学校教育室長》

令和 3 年度小学校において使用する教科書は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 14 条 義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令で定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとする」との規定に基づき、今年度、採択はしますが、今年度は、採択替えを行いません。
つきまして、お手元の資料 1 にあります小学校使用教科用図書の採択についてご審議よろしくお願いいたします。

《各委員意見・質問なし》

【採 決】

全委員一致により令和 3 年度小学校使用教科用図書について資料 1 のとおり採択することに決定しました。

日程第 3 議案第 14 号

令和 3 年度使用中学校教科用図書の採択について

《資料 2、3、4》

●学校教育室長より、資料に基づき、令和 3 年度使用中学校教科用図書の採択について説明がありました。

《学校教育室長》

資料2、資料3にある、令和3年度中学校使用教科用図書の採択につきまして選定委員会からの答申についてご審議いただき、採択を行いたいと思います。

「羽曳野の子どもたちにとって学びやすい教科書はどれか」を選定の視点の中心とし、目標・内容の取扱い、人権の取扱い、内容の程度、組織配列、創意工夫、補充的・発展的学習等について、各教科の調査・選定にあたりました。

それぞれ各社の教科書には、特徴があり、どれもすぐれた編集がされておりましたが、先ほど述べました、「子どもたちにとって学びやすい教科書・使いやすい教科書はどれか」という方針に基づき、採択候補の選定をいただきました。調査委員会は、教科ごとに複数回開催し、調査報告書を作成しました。

選定委員会につきましては、調査報告に基づき計3回の協議により選定作業を進め、その中で、数社の教科書を推薦させていただきました。

本日の流れですが、事前に配布させていただきました、調査委員会からの調査報告資料と選定委員会からの答申資料を基に、教科ごとに選定委員会からの選定理由の説明および質疑応答の時間を取らせていただきます。そして、教育委員のみなさまで教科ごとに審議・採択いただきますようお願いいたします。

《教育長職務代理者》

資料にあがっている順に採択を始めます。選定委員長、副委員長お願いします。

《選定委員長》

お手元の「資料4 新学習指導要領における各教科の目標一覧」をご覧ください。

今回ご審議いただきます全種目・各社の教科用図書とも、こちらに示されている「各教科の目標」の達成に必要な内容が適切に取り扱われており、発達段階に応じた教材が創意工夫され、配列されています。

本市で使用する教科用図書として示された各観点において、全種目・各社の教科用図書とも、その基準をおおむね満たしていることを、冒頭に申しあげておきます。

また、説明にあたりまして、資料2の選定委員会答申に書かれています内容通りではありますが、特徴的な例を示しながら、説明させていただきます。

【以下 教科ごとに採択】

国語

《選定委員長》

国語における教科書は4社ありますが、「子どもが言葉に興味関心を高め、すすんで学ぶことができる教科書、伝え合う力や思考力・想像力及び言語感覚を養うことに効果的な教科書」という視点で、選定委員会において、比較検討した結果、発行番号順で「東京書籍」、「光村図書」の2社を推薦いたします。

それぞれの特徴的なところとして、（1年教科書）

「東京書籍」につきましては、

- P41のように、目標については1教材1点に焦点化され、重点的な学習内容・学習指導が提示されています。そのため、学習内容が深化しやすいように取り扱われています。また、学習課題が対話やマンガ形式で示され、生徒に親しみやすい構成となっており、教科横断的な取組支援も充実しています。
- P172のように、タイトル下の「D」のマークはインターネットを通じて、デジタルコンテンツが提供されている教材を示しており、教科横断的な取組みの支援も充実し、主体的な学びができるよう構成されています。

「光村図書」につきましては、

- P134のように、「読む」観点教材では文学的文章、説明的文章の両方に共通して、3年間を通じて、単元末の学習のページ構成が同じです。「見通しをもつ」「捉える」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」の5段階構成になっており、変化のある繰り返しで、積み上げが可能です。
- P136のように、単元ごとに独自のテーマを設け、単元の読み物での学習→実践での活用→確認・定着・振り返りのための読み物といったように、設定したテーマについて一貫した取組みの流れを明示し、学びを実生活に落とし込めるように工夫されています。

これらが特筆すべき事項です。

羽曳野の子ども達にふさわしいと意見が多かったのは、目標が1つ1つに特化され、何を学ぶかがはっきりしている、そして、教科横断的な取組み支援が充実しているという点から、「東京書籍」でありました。

ご審議よろしく願いいたします。

《教育長職務代理人》

国語について、選定委員会から第1候補として「東京書籍」次に「光村図書」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願いいたします。

《新熊委員》

今回、学習指導要領では、主体的、対話的で深い学びが挙げられています。この対話に関して推薦された教科書の中で、工夫されている点や子どもたちにと

って学びやすくなっていると思われる点を教えていただきたいと思います。

《選定委員長》

「東京書籍」では、普段の子どもたちの生活や経験を考慮し興味、関心を引くような教材が多く、読みすすめやすいよう取扱いが工夫されています。また、スピーチ原稿や評論原稿といった見本例示が多く、学習の助けとなっています。

「光村図書」では、巻頭の詩教材、各学年の最初の文学的文章は、それぞれ該当学年程度の人物が主役となる教材が配置され、等身大の視点から入れるように工夫されています。また、「思考力・判断力・表現力」を育成するための手がかりになる教材を巻末に掲載しているだけでなく、それを活用させる取り組み例も示されています。

【採 決】

全委員一致により国語の採択教科書を「東京書籍」とすることに決定しました。

書写

《選定委員長》

書写における教科書は4社ありますが、子どもが使いやすい教科書、見てわかりやすい教科書という視点と、学んだことを活用できる力の育成から、生活場面との関連性も重視しました。選定委員会において、この点で比較検討した結果、発行番号順で「教育出版」、「光村図書」の2社を推薦いたします。

それぞれの特徴的なところとして、（1年教科書）

「教育出版」につきましては、

- P10のように、書写を通して何を学ぶのか、学びの後で何ができるようになるのかが、具体的に、イラストを交えてわかりやすく明記されています。
- P12以降、目標が簡素で的確に設定されており、その目標を達成するための助言が細かく、一つひとつ丁寧に記述されています。

「光村図書」につきましては、

- P40のように生徒を主体とした問いかけが多く、考えさせて書かせる内容のものが多く取り扱われています。
- 練習問題だけの「書写ブック」という切り離し可能な別冊ブックが附属されており、これを練習することで、3年間で学ぶべき内容が凝縮して復習できるように工夫されています。

これらが特筆すべき事項です。

羽曳野の子ども達にふさわしいと意見が多かったのは、生徒が手に取る一冊に

3年間の教科としての「書写」だけでなく、「文字を書く活動全てへのワークブック」というニュアンスも入れ込んだ「教育出版」でありました。
ご審議よろしくお願いたします。

《教育長職務代理者》

書写について、選定委員会から第1候補として「教育出版」次に「光村図書」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願いたします。

《奥野委員》

選定資料において、光村図書の場合、QRコードの活用について書かれていますが、教育出版はいかがでしょうか。

《選定委員長》

「教育出版」におきましては、3ページにQRコードが載っておりまして、それを読み込みますと教育出版のホームページにつながります。特徴的なところとして、動画サイトが充実しています。各单元ごとに、書くときのコツであったり筆払いなど、子どもたちにとって分かりやすい動画がたくさん配列されており、自宅で学習するときの手助けになるのではないかと思います。

【採 決】

全委員一致により書写の採択教科書を「教育出版」とすることに決定しました。

社会（地理的分野）

《選定委員長》

社会の地理的分野における教科書は4社ありますが、子どもたちが使う上で、ビジュアル的に興味を喚起するものや内容に関心を引くものがあり、本文が見やすいという視点で検討した結果、発行番号順で「東京書籍」、「帝国書院」の2社を推薦いたします。

それぞれの特徴的なところとして、

「東京書籍」につきましては、

- 不要な凹凸や飾りをなくした「フラットデザイン」を採用しており、学習に集中できるように工夫されています
- P55のように、『世界の諸地域』の導入ページでは、SDGsについて具体的に触れることによって、現代社会がかかえる課題を意識しやすいような工夫がされています。

「帝国書院」につきましては、

- P76のように学習のはじめに、大きな写真やイラスト地図を設けることで、

生徒の興味・関心を引きつけ、「主体的な学び」を促せるように構成されています。

- P106、107のように「章（節）の学習を振り返ろう」では、「章（節）の問い」に対して「地理的な見方・考え方」を働かせて考えるステップなど、課題解決的な学習ができる工夫がなされています。

これらが特筆すべき事項です。

羽曳野の子ども達にふさわしいと意見が多かったのは、生徒の興味・関心を引きつけ、「主体的な学び」を促せるように構成されている点を重視して、「帝国書院」でありました。

ご審議よろしくお願いたします。

《教育長職務代理者》

社会の地理的分野について、選定委員会から第1候補として「帝国書院」次に「東京書籍」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願いたします。

《意見・質問なし》

【採 決】

全委員一致により社会の地理的分野の採択教科書を「帝国書院」とすることに決定しました。

社会（歴史的分野）

《選定委員長》

社会の歴史的分野における教科書は7社ありますが、子どもたちが使う上で内容のまとまりが良く、世界的視野や時代俯瞰的な視野でも興味をもって学習に入り込めるという視点で、選定委員会で検討した結果、発行番号順で「東京書籍」「日本文教出版」の2社を推薦いたします。

それぞれの特徴的なところとして、

「東京書籍」につきましては、

- P34、35などのように、「見方・考え方」「読み取る」「みんなでチャレンジ」などの学び方のコラムが充実しており、生徒が主体的に学ぶことのできる内容となっています。また、随所の「みんなでチャレンジ」では、グループで協同的で対話的な学びの活動ができるようになっています。
- P198、P199のように、「もっと歴史」の特集ではメディアの発達や震災の記憶など現代的なテーマでの歴史が紹介され、現代的な課題に対する

歴史的な視点を学べるよう、対話的で深い学びの工夫がなされています。

「日本文教出版」につきましては、

- P159のように、各単元の冒頭「めあて」が明確に示されており、次ページには「地図で見る世界の動き」が示されており、世界の動きと連動していることをイメージできる構成になっています。
- P34のように、「チャレンジ歴史」を設け、自ら考えたり、対話的な深い学びができたりするように配慮されており、発展的な内容としても適切な量が提示されています。

これらが特筆すべき事項です。

羽曳野の子ども達にふさわしいと意見が多かったのは、小学校からの学習内容を段階的に踏まえ、本文と資料とのまとまり・バランスが素晴らしいという点から「東京書籍」で次に多かったのが「日本文教出版」でありました。

ご審議の程お願い致します。

《教育長職務代理者》

社会の歴史的分野について、選定委員会から第1候補として「東京書籍」次に「日本文教出版」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしく申し上げます。

《多田委員》

羽曳野の子どもたちにとって、身近である世界遺産にもなっている百舌鳥・古市古墳群が載っている日本文教出版がいいのではないかと思います。

《選定委員長》

東京書籍については、先ほど申し上げました特徴的なところの他に、各章の章末に設定されている「まとめの活動」は、単純に歴史をまとめさせるのではなく、生徒たちの思考力、判断力、表現力が養えるようなワークが多く設定されています。また、全体を通して、写真、挿絵、図、表など資料について、本文の学習内容と関連した適当な量が配置されており、資料とイラストでの解説がバランスよく配置されたことで見やすくなっており、選定委員会では、東京書籍を推薦いたしました。

【採 決】

多数決により社会の歴史的分野の採択教科書を「東京書籍」とすることに決定しました。

社会（公民的分野）

《選定委員長》

社会の公民的分野における教科書は6社ありますが、子どもたちが使う上で学習内容をすっきりとまとめてあり、本文に加えて公民的感覚を養うのにわかりやすい工夫があるという視点で、選定委員会で検討した結果、発行番号順で「帝国書院」、「日本文教出版」の2社を推薦いたします。それぞれの特徴的なところとして、

「帝国書院」につきましては、

- P107のように、各単元の冒頭「学習の前に」ではイラストを使い、身近な場面から学習する内容の見通しを立てるよう工夫されている。また、章や節の問い、学習課題がそれぞれ明確に提示されているので、学習内容が把握しやすくなっています。
- P101のように、「アクティブ公民」では課題解決に向けてグループでの協同的な学びを通じ、思考力や判断力、表現力を高めるようになっており、「技能をみがく」では、考察する上で必要な技能も掲載されています。

「日本文教出版」につきましては、

- P34のように、章の冒頭に公民的な見方や考え方を掴ませ、P74のように、編（章）末の「チャレンジ公民」では、学習内容の整理と社会的課題を深く考察ができる構成になっています。
- P61のように、「情報スキルアップ～統計とグラフを使いこなそう～」では、統計やグラフの意味や目的、社会調査での基本的なルールについて詳しく触れており、グラフを活用する実践的な力を身につけることができます。

これらが特筆すべき事項です。

羽曳野の子ども達にふさわしいと意見が多かったのは、身近な社会現象と関連付けながら生徒の興味・関心をよりひきだす工夫があるという点を重視して、「帝国書院」でありました。

ご審議よろしくお願いたします。

《教育長職務代理人》

社会の公民的分野について、選定委員会から第1候補として「帝国書院」次に「日本文教出版」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願いたします。

《新熊委員》

子どもが世の中のことに興味を持ち、主体的に学べるように工夫があるのは、どのような部分ですか。

《選定委員長》

帝国書院では、「アクティブ公民」において課題解決に向けてグループでの協同的な学びを通じ、思考力や判断力、表現力を高めることができるようになっております。また、「先輩たちの選択」では学習内容を実社会で生かしたり、取り組みに携わる人たちの声が掲載されており、社会的課題をより身近に感じられる工夫がなされています。

日本文教出版では、巻頭に、SDGs についての特集が組まれており、公民の導入として活用することができます。また、「チャレンジ公民」では、見方や考え方コーナーを活用しながら、深い学びを実現するための工夫がなされています。

《多田委員》

その中で、帝国書院を推薦されるのはどういうところなのでしょうか。

《選定委員長》

用語解説や関連資料が本文ページの側注欄に掲載されており、ページ間を移動する必要がなく大変見やすくなっています。また、写真、イラスト等が大きく提示され、生徒の興味関心を引き出しやすいように創意工夫されているところも帝国書院を推薦するところですよ。

【採 決】

全委員一致により社会の公民的分野の採択教科書を「帝国書院」とすることに決定しました。

地図

《選定委員長》

地図は発行番号順で「東京書籍」「帝国書院」の2社ありますが、子どもたちが使う上で、ビジュアル的に美しく興味を喚起するものがあり、本文が見やすいという視点で、選定委員会において比較検討しました。

それぞれの特徴的なところとして、

「東京書籍」につきましては、

- P151、152のように、冒頭でのSDGsの特集に加えて、防災・安全にかかわるハザードマップや、情報・通信技術にかかわる資料など、中学生が現代的な諸課題を意識しやすい資料が選択されています。
- P110～112のように、歴史的な分野や公民的分野においても地図帳が活用できるように、江戸時代の大阪の地図や人口問題や紛争など現代的な諸課題に関する資料を掲載し、分野を横断して地図帳を活用できるように工夫がなされています。

「帝国書院」につきましては、

- P25、26のように、平面的な「一般図」に加えて、「鳥瞰図」を見開き1ページに掲載することで、その地域の特徴が大観して理解しやすいように工夫されています
- A4サイズの大きさとなっており地図が大きく見やすくなっています。そのため、中学生にとって、自然環境などの地理的特色を理解しやすいうえ、各グラフなどの読み取り活動を通して、効率的な資料活用能力の獲得ができるようになっています。

これらが特筆すべき事項です。

羽曳野の子ども達にふさわしいという意見が多かったのは「帝国書院」でありました。

ご審議よろしくお願いたします。

《教育長職務代理者》

地図について、選定委員会から第1候補として「帝国書院」次に「東京書籍」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願いたします。

《新熊委員》

帝国書院は、サイズの大きさ、鳥瞰図も立体的な見かたができ理解も深まるのではないかと思いました。また、羽曳野市に関しても「ブドウ」や「誉田御廟山古墳」、駒ヶ谷の地名の記載もあり帝国書院がいいのではないかと思いました。

【採 決】

全委員一致により地図の採択教科書を「帝国書院」とすることに決定しました。

休憩：午前11時50分～

再開：午後0時40分

数学

《選定委員長》

数学における教科書は7社ありますが、

「数学は、基礎基本の積み重ねが大切な教科であること。数学的活動の楽しさや数のよさに気付くこと。つまり、数学に対して興味・関心をもてること。」を観点に、選定委員会で検討した結果、発行番号順で「大日本図書」「日本文教出版」の2社を推薦いたします。

それぞれの特徴的なところとして、(1年教科書)

「大日本図書」につきましては、

- P12、13のように、問題、課題を比較して考察する場面が多く、考え方の多様性を引き出す工夫がされています。
- P19には、かたまりごとにめあてが明記されており、授業時間数の目安もあわせて学習の流れがつかみやすいように取り扱われています。

「日本文教出版」につきましては、

- P87のように、「学び合おう」は、問題解決的な授業展開の流れを明示することで、主体的・対話的で深い学びが実現できるように取り扱われています。
- P146のように、〈考えよう〉〈話し合おう〉〈深めよう〉〈説明できるかな〉というマークをつけた〈問〉は、「主体的に学習に取り組む態度」や「思考力・判断力・表現力等」の観点、マークが付いてない〈問〉は「知識・技能」の観点での評価に活用することができるので、指導と評価の一体化を図ることができるように取り扱われています。

これらが特筆すべき事項です。

羽曳野の子ども達にふさわしいと意見が多かったのは、応用において数学が日常生活や社会、他教科との関わりを考えさせているところから、授業以外においても数学的なものの見方や考え方を深めることができる点から「日本文教出版」でありました。

ご審議の程お願い致します。

《教育長職務代理者》

数学について、選定委員会から第1候補として「日本文教出版」次に「大日本図書」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしく申し上げます。

《奥野委員》

現行は、啓林館の教科書を使われていますが、他社に変わるとなると、細かい部分での違いがあると思いますが、それによって子どもたちが戸惑うことはないでしょうか。

《選定委員長》

数学だけに関わらず、新学習指導要領では従来から大幅に内容が変わります。今までの使用図書については、一旦フラットな状態からどの教科の教科書についても検討しました。

小学校から中学校へ上がると、教科書もガラッと変わります。どの教科でも、新学年の最初授業の時間を使って、授業のオリエンテーションを行います。その時に、教科書の使い方についても各教科で行いますので、そういう意味で言う戸惑いはさほど心配はないのではないかと考えています。

《新熊委員》

小学校の時は算数で、中学校になると数学となり、徐々に生徒の間で苦手意識が出てくると思いますが、先ほどの説明の中で、基礎基本を固めるという意味で推薦されている日本文教出版が、基礎基本を固めやすいというイメージなのではないでしょうか。

《選定委員長》

どの教科書もちろんそういう工夫はされていますが、その中でも日本文教出版は、本文での学習内容は基礎的・基本的なものに重点的に置いた上で、徐々に段階を踏んだ丁寧な内容になっているところが見られました。また、基礎的・基本的な知識及び技能を習得する過程で、思考力、判断力、表現力等を段階的に高めていけるように配慮されているところも推薦した理由です。

【採 決】

全委員一致により数学の採択教科書を「日本文教出版」とすることに決定しました。

理科

《選定委員長》

理科における教科書は5社ありますが、理科の学習で大切なのは、主体的・意欲的に問題解決学習に取り組みながら、科学的な見方や考え方を育むことです。その点で各社の教科書を比較検討しました。

選定委員会で検討した結果、発行番号順で「東京書籍」、「啓林館」の2社を推薦いたします。

それぞれの特徴的なところとして、

「東京書籍」につきましては、

- 2年生P38～40のように、実験において、結果の写真は掲載されているものの、大きくは取り上げられておらず、実験結果を生徒に考えさせやすいようになっている。また、考察（まとめ）にあたる部分は本文としてまとめられていて、一見実験の考察と思えないため、レポートを書く際は、実際の実験結果から考察させることができ、本文で確認することもできます。
- 各学年の巻末に地学のペーパークラフトが付属しており、活火山の分布や前線のように、星座早見表を楽しく作りながら、立体的に、視覚的に科学的事象を理解できるよう工夫されています。

「啓林館」につきましては、

- 1年生P219のように、発展コラムには、「部活動ラボ」「お料理ラボ」「お仕事ラボ」などがあり、生徒の関心意欲を引き出す工夫がされているだけでなく、科学と仕事を繋ぎ、キャリア教育を意識したものとなっている。
- 1年生P13などのように、探Qクラブや探Qシートは生徒の興味がわくように工夫されているので、自由研究など学校外で科学にふれる機会が多くなるように考えられています。生徒が立てた課題や仮説、計画などを生徒自身の言葉で書き込むことで、探究する力が身につく、主体的・対話的に取り組むことができます。

これらが特筆すべき事項です。

羽曳野の子ども達にふさわしいと意見が多かったのは、写真などがビジュアル的に美しく、探究活動・自由研究の箇所が多いことから、子どもが主体的に問題を見出し、見通しを持って学習を進められるという点から、「啓林館」でありました。

ご審議の程お願い致します。

《教育長職務代理者》

理科について、選定委員会から第1候補として「啓林館」次に「東京書籍」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願ひします。

《多田委員》

啓林館では、QRコードから見ていく中身もすばらしい内容でした。

《選定委員長》

理科に限らず、全教科書、全教科書会社、QRコードを使用されています。啓林館の特徴的なところは、QRコードの動画において、内容がクイズ形式のような展開になっていることから、中学校と小学校との学習内容の違いにギャップを感じやすい1年生にとっては、興味をもちやすいように配慮がされており取りかかりやすい内容になっています。

【採 決】

全委員一致により理科の採択教科書を「啓林館」とすることに決定しました。

音楽（一般）

《選定副委員長》

音楽（一般）は、発行番号順で「教育出版」「教育芸術社」の2社ありますが、それぞれの特徴的なところとして、

「教育出版」につきましては、

- 各巻頭P4では、学びのユニットとして音楽学習がまとめられており、学び

を深めるための活動がしやすいよう配慮されています。

- 2、3年生、上のP66～69では、ポピュラー音楽図鑑の内容が豊富で、音楽の歴史と人権の関わりを学べる工夫があります。

「教育芸術社」につきましては、

- 表現活動と連動した創作活動へのアプローチが1～3年生まで系統立てられており、順序立てて活動しやすいようになっています。
- 1年生のP23やP30などのように、聴き取ったこと、感じたことを教科書のワークシートに直接書き入れることができ、授業がスムーズに進みやすくなっています。

これらが特筆すべき事項です。

羽曳野の子ども達にふさわしいと意見が多かったのは、落ち着いた紙面構成でありかつ、教材ごとにねらいや課題の説明が示され、学習のポイントを理解しやすく、より深められるということから、「教育芸術社」でありました。ご審議の程お願い致します。

《教育長職務代理人》

音楽（一般）について、選定委員会から第1候補として「教育芸術社」次に「教育出版」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしく願いします。

《多田委員》

両者とも良いと思います。羽曳野の子ども達にふさわしい落ち着いた点とはどういうところでしょうか。

《選定副委員長》

教科書を手を取ったときに、表紙の絵などが子どもたちにとって馴染みやすいのではないかと思います。また、P8のように学習内容が一覧で見ることができるのは、子ども達に合っているのではないかと判断しました。

《奥野委員》

ワークシートが理解しやすく、すごくいいと思いました。

【採 決】

全委員一致により音楽（一般）の採択教科書を「教育芸術社」とすることに決定しました。

音楽（器楽合奏）

《選定副委員長》

音楽（器楽合奏）は発行番号順で「教育出版」「教育芸術社」の2社ありますが、それぞれの特徴的なところとして、

「教育出版」につきましては、

- P26のように、「何が同じで、何が違う？」では、楽器の特徴について検討と交流を促しており、楽器の背景にある文化や伝統について学びを広げられるように配慮されている。
- P17のように、「聴いてみよう」のコーナーで鑑賞教材が紹介されており、学習する楽器や音楽（一般）と関連付けて学習できるよう考慮されています。

「教育芸術社」につきましては、

- P19、21のように、リコーダーのアーティキュレーション・タンギングを丁寧に解説しており、技能や演奏を深めやすい。
- P16、40のように、学習する楽器のはじめに、「～の演奏を聴こう」として鑑賞教材が紹介されており、学習する楽器や音楽（一般）と関連付けて学習できるよう考慮されている。

これらが特筆すべき事項です。

子どもが音楽の構造を理解するとともに、みずから音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる教科書、また、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽に親しみをもって感性を育み、豊かな情操を培うことに効果的な教科書という視点で、選定委員会で検討した結果、羽曳野の子ども達にふさわしいと意見が多かったのは、「教育芸術社」でありました。

ご審議の程お願い致します。

《教育長職務代理者》

音楽（器楽合奏）について、選定委員会から第1候補として「教育芸術社」次に「教育出版」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願ひします。

《金銅委員》

音楽の一般と器楽、同じ出版社の方がいいのでしょうか。

《選定副委員長》

必ずしもそういうことではございません。

《多田委員》

違うと不具合はありますか。

《選定副委員長》

音楽の一般で学ぶ部分、それに付随して器楽、演奏ということで、リンクする部分はございますので、教科書が合っていたら、それに合わせて演奏するとい

うところはあるかとは思いますが、当然、学校の授業ですので、教科書が違ったから全然違う楽器をやるということではございませんし、できなくなるということはないです。

《奥野委員》

ギターのコード表、指使いの部分だけで言えば、絵よりも写真で書かれている教育出版の方が分かりやすいのかなという気がしています。

教育芸術社についても、太鼓、琴は写真ですので、写真で示してもらう方が子どもたちには分かりやすいのかなと思いました。

【採 決】

全委員一致により音楽（器楽合奏）の採択教科書を「教育芸術社」とすることに決定しました。

美術

《選定副委員長》

美術における教科書は3社ありますが、

「子どもの情操を育むのに適した教科書で、子どもが楽しんで、意欲的に取り組める教科書」という視点で検討しました。

それぞれの特徴的なところとして、

「開隆堂出版」につきましては、

- 1年生のP10では、「学習の目標」が各単元で明確に示されており、生徒が学習の目当てを把握しやすいように配慮されています。
- 1年生のP54、55のように、生徒の環境や成長に合わせて題材設定できるよう、基礎から応用までの内容が記載されています。

「光村図書」につきましては、

- 2、3年生のP48～53のように、ピカソのゲルニカが大判で掲載されていることや、それを鑑賞する子どもの写真が掲載されていることで、実物の大きさを想像しやすくなっています。その大きさを感じることでピカソの戦争に対する悲しみや怒り、平和への思いの強さを感じ取れるようになっています。
- 1年生のP12では、生徒が実際に制作を行うときの制作過程が掲載されているので、美術に対し苦手意識のある生徒であっても、作品制作に取り掛かりやすいように配慮されています。

「日本文教出版」につきましては、

- 1年生のP19のように、生徒作品に生徒自身の言葉が掲載されているので、美術が苦手な生徒でも興味関心をもって取り組むことができます。
- 2、3年生下のP24では、東日本大震災をテーマにした作品が掲載されていたり、2、3年生上のP40のように、SDGsを題材にしていることで、生徒が、人々が支えあっていく社会について学ぶことができるように配慮されています。

これらが特筆すべき事項です。

羽曳野の子どもたちにふさわしいとの意見が多かったのが、「日本文教出版」で次に多かったのが「光村図書」でありました。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

《教育長職務代理者》

美術について、選定委員会から第1候補として「日本文教出版」次に「光村図書」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしく願いします。

《教育長職務代理者》

羽曳野の子どもたちにふさわしいと多かった意見の比率はどうか。

《選定副委員長》

比率ということではないですが、日本文教出版においては、生徒自身の言葉が掲載されているということで、子どもたちが取り組みやすいのではないかとこのところでは。

【採 決】

全委員一致により美術の採択教科書を「日本文教出版」とすることに決定しました。

保健体育

《選定副委員長》

保健体育における教科書は4社ありますが、「子どもたちが使いやすい、また、自分の体を大切にすることができるようになる教科書」という視点で、選定委員会で検討した結果、発行番号順で「東京書籍」「大日本図書」の2社を推薦いたします。

それぞれの特徴的なところとして、「東京書籍」につきましては、

- P 6のように、資料から課題を見つけさせ、解決するなど生徒自身に考えさせることができるように、また、その内容からグループを通じて学びを深めさせることができるよう工夫されています。
- P 6 6、P 8 8の読み物資料では、発展的な内容や新たな発見、気づきがあり、章末資料では、図やグラフを用いて、生徒の興味・関心を引くものになっています。

「大日本図書」につきましては、

- 絵P 3のように、口絵には大きな写真、ダイナミックな構成、現代的なテーマも絡め、生徒の興味・関心を引くようなものとなっています。
- 絵P 1 1～1 4では、中学生に大切な食事やスマートフォンのことなどを巻頭に掲載し、中学生の実生活で大切な内容を見やすく取り扱っています。

これらが特筆すべき事項です。

この2社について、さらに検討した結果、そのなかで最も多く羽曳野の子どもたちにふさわしいとの意見が多かったのが、資料から課題を見つけさせ、解決するなど生徒自身に考えさせることができるようにしていること発展的な内容や新たな発見、気づきがあり生徒の興味・関心引くという点から「東京書籍」でありました。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

《教育長職務代理人》

保健体育について、選定委員会から第1候補として「東京書籍」次に「大日本図書」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願い致します。

《奥野委員》

先ほどの説明では、どの教科にもQRコードが充実しているということでした。今後、可能であれば、教科書採択の際、事例的にいくつか紹介してもらうことができれば、審議も深まるのではないかと思います。

《選定副委員長》

技術、家庭科などの実技種目もあり、動きのあるものも多数ありますので、ご指摘いただいたように、今後、この場でご紹介できればと思います。

《多田委員》

現状では、大日本図書がいいのではと思うので、もう少し具体的に説明をお願いします。

《選定副委員長》

どちらの方が子どもたちにふさわしいか、という視点でご説明させていただきますと、東京書籍については、資料を読む中で課題を見つけ解決するというのは、今の子どもたちに大切な部分だろうと思いますし、羽曳野の子どもたちに

そのあたりの力をもう少し付けたいということを考えますと、資料から課題を見つけ生徒自身が解決する、またグループを通じて学びを深めさせるという点から、東京書籍の方がよいのではないかと判断いたしました。

【採 決】

全委員一致により保健体育の採択教科書を「東京書籍」とすることに決定しました。

技術

《選定副委員長》

技術における教科書は3社ありますが、
それぞれの特徴的なところとして、

「東京書籍」につきましては、

- P 6～17では、ガイダンスで3年間に学習する学習の見通しを持つことができるように、技術の見方・考え方について丁寧な説明が加えられています。
- P 177～179では、問題解決学習を促す内容が各領域に取り入れられており、生活を工夫し想像する資質の育成を助ける工夫がされています。

「教育図書」につきましては、

- P 50～69のように、手に入る一般的な材料をもとに製作できる作品を題材にしています。
- P 212～217では、プログラミング学習について写真の画像を用い、具体的に紹介されており、細かく注釈がつけられています。

「開隆堂出版」につきましては、

- P 68～87では、原理やしくみなどを科学的な根拠に基づいた資料により、技能(動作)のポイントが把握できる内容となっています。
- P 160～167では、必要な内容が精選されており、従来の技術科で取り扱っていた内容について丁寧に細かく紹介されています。

これらが特筆すべき事項です。

羽曳野の子ども達にふさわしいと意見が多かったのは、実習例が記載されている箇所が多く、また、関連する学習や他教科との関連を示すことにより、子どもが実習(体験)からの学びの機会が増え、他教科の広がりをもたすことができる点から、「開隆堂出版」次に「東京書籍」でありました。

ご審議の程お願い致します。

《教育長職務代理者》

技術について、選定委員会から第1候補として「開隆堂出版」次に「東京書籍」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願いします。

《新熊委員》

学んだことを生活に生かすというところで、各発行者は、どのような視点で工夫をされていますか。

《選定副委員長》

推薦しました2社について見ていきますと、開隆堂出版については、P60のように、「身近な問題の発見」として、課題を設定して、設計製作し、評価改善する、ということがまとめられています。こういう流れ示されていることで、実生活で自分で何かをしようとするときに、つながっていくのではないかと思います。

東京書籍の方では、P119のように、「畑のないところで野菜を育てよう」というところでは、小さいスペースやビニール袋などを活用し野菜を育てることができるといことが、たくさん紹介されていることで実生活に生かせるのではないかと思います。

《新熊委員》

東京書籍は、内容は詳しく、SDGsについても書かれており国際的な内容も入っている感じがしました。

開隆堂出版は、内容量も適量で、字もやや大きく、行間もよかったですと思います。印象に残っているのは、「動作のポイント」が大きく取り上げられ、解説も充実しており開隆堂出版がいいと思います。

【採 決】

全委員一致により技術の採択教科書を「開隆堂出版」とすることに決定しました。

家庭

《選定副委員長》

家庭科における教科書は3社ありますが、「子どもが衣食住に興味・関心を高め、すすんで学ぶことができる教科書、家族や地域の人々とのかかわり方を考え、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うことに効果的な教科書」という視点で検討しました。

それぞれの特徴的なところとして、「東京書籍」につきましては、

- P 2 1 4、2 1 5のように、家族の内容ではさまざまな家族形態があり、どれもかけがえのない家族であることを指導しやすいように配慮されており、自己肯定感を高めることができるように工夫されています。
- P 2 4 2～2 4 7のように、幼児とのふれ合い実習については、「施設訪問」「中学校への招待」「写真での観察」の3例を取り上げ、学校の実態に応じて実施できるように配慮されています。

「教育図書」につきましては、

- P 2 3 8、2 3 9のように、SDGs や食品ロスについての取り扱いもあり、教科書全体を通して、持続可能な社会の実現について、生徒が自分にできることを考えることができるように工夫されています。
- P 1 4～1 7のように、見開きで「見つめる→学ぶ→振り返る」の流れが繰り返す構成になっており、生徒が決まった流れに沿って学習しやすいように工夫されています。

「開隆堂出版」につきましては、

- P 2 4 2のように、「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「発表しよう」の毎時間アクティブラーニングが展開できるようになっていて、生徒の興味・関心・意欲を高め、主体的な学びにつながるよう工夫されています。
- P 7 2～7 7のように、学習の目標が明確に表示され、学習前の自分の興味・関心、疑問を書き、振り返りも書くスペースを用いているので、学習の前後で自分の変容が見とれるため主体的な学びにつながります。

これらが特筆すべき事項です。

羽曳野の子ども達にふさわしいと意見が多かったのは、問題解決的な学習へのしかけがされており、学習内容を深め、家庭生活での実践にも結びつけている、「教育図書」次に「開隆堂出版」でありました。

ご審議の程お願い致します。

《教育長職務代理者》

家庭について、選定委員会から第1候補として「教育図書」次に「開隆堂出版」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしく申し上げます。

《新熊委員》

男女の家事における協力、共同作業を促すことについて、各発行者はどのような工夫がされていますか。

《選定副委員長》

推薦しました2社について、教育図書は、P 1 7のように、「家族の一員として」では、協力や分担について、家族の一員としてどう協力するのか、また役

割を分担していくのかを考えるようになっていきます。また、男女共同参画社会を目指して、育児休業の取得率、家庭の仕事における時間を男性と女性とでグラフで表しながら示すことによって考えることができるようになっていきます。開隆堂出版では、P 20、21のように、「家庭を支える社会」では、4か国による仕事や家事に費やす時間がグラフで比較されています。4か国での夫、妻の比較、4か国と日本を比較することで、男女の協力について話し合うことができるように工夫されているのではないかと思います。

【採 決】

全委員一致により家庭の採択教科書を「教育図書」とすることに決定しました。

休憩：午後2時30分～

再開：午後2時45分

英語

《選定副委員長》

英語における教科書は6社ありますが、子どもたちが使う上で内容のまとまりが良く、学習の流れを特に考慮し、発展的に学んでいけるという視点で、選定委員会において比較検討した結果、発行番号順で「東京書籍」、「三省堂」の2社に絞りました。

それぞれの特徴的なところとして、

「東京書籍」につきましては、

- 1年生P16のように、小学校の既習単語がページ下に示されていて、生徒自身で確認していくことができます。
- 2年生P83のように、教科書巻末に各学年、学期の到達目標としてCAN-DOリストが載っているだけでなく、各単元の最初にGOALが明記されています。また単元の最後では、ふり返りや自己評価をしていくことができるようになっています。

「三省堂」につきましては、

- 1年生P18のように、小学校での学びを大切にされた文法配列を工夫していて、1年生の最初からbe動詞と一般動詞を比較しながら学べるようになっています。
- 卒業時の目標の1つを「ディスカッションできるコミュニケーション能力の育成」とし、それに向けたトレーニングが段階を踏んで出来るようになっています。

羽曳野の子ども達にふさわしいという意見が多かったのは、生活場面と密接に関連させて理解を高める工夫がよりなされているという点を重視して、「東京書籍」でありました。

ご審議よろしく願いいたします。

《教育長職務代理者》

英語について、選定委員会から第1候補として「東京書籍」次に「三省堂」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしく願います。

《教育長職務代理者》

東京書籍の教科書は、他社と比べると大きいサイズですね。

《選定副委員長》

他社と比較して少し大きめのサイズで余白を多めにとり、教科書1冊ですべてが完結できるようにまとめてあり、紙面の使い方も含めて工夫されているので、使いやすいであろうということで、特出する点にも上がっております。

《多田委員》

小学校からの関連性もあり東京書籍がいいのではと思います。

《新熊委員》

教科書が大きいので、字が大きく見やすいです。また、小学校との関連も記載されていますので、馴染みやすいと思います。イラストもきれいで、子どもたちに受けやすいと思います。

《奥野委員》

小学校の既習の単語が下に書かれているというところがいいと思います。また、単元の最初にゴールが明記されているところも、子どもたち自身がはっきりと目標設定ができるのではないかなと思います。

【採 決】

全委員一致により英語の採択教科書を「東京書籍」とすることに決定しました。

道徳

《選定副委員長》

道徳における教科書は7社ありますが、道徳の学習で大切なのは、よりよく生きていくための基盤となる道徳性を養うため、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を養うこ

とです。その視点で、選定委員会において比較検討した結果、発行番号順で「東京書籍」、「学研教育みらい」の2社を推薦いたします。

それぞれの特徴的なところとして、

「東京書籍」につきましては、

- 各学年、本編35時間分の教材と付録5教材を用意し、学校や教室の実態に合わせて柔軟な指導ができるよう配慮されています。
- 1年生P48、52のように、生徒作文を、実際の行事の時期などを考慮して配列することで、効果的に学習・指導ができるように配慮されています。

「学研教育みらい」につきましては、

- 1年生P76のように、生徒の生活実態や発達の段階を考慮した上で、「プラス思考」と「未来志向」の教材が数多く掲載されています。
- 1年生P88のように、教材の関連情報により生き方の選択肢を増やす（クローズアップ）、また、視点や学習内容の違う関連情報により生き方の選択肢を増やす（クローズアッププラス）ための特設ページを設けています。

これらが特筆すべき事項です。

羽曳野の子ども達にふさわしいという意見が多かったのは、児童一人ひとりが多面的に考えたことや、発見したことについて意見が言える、また、発達段階に応じた課題提示の工夫がされている点から、「学研教育みらい」、次に、「東京書籍」でありました。

ご審議よろしく願いいたします。

《教育長職務代理人》

道徳について、選定委員会から第1候補として「学研教育みらい」、次に「東京書籍」との意見が出ました。意見・質問がありましたらよろしくお願い致します。

《多田委員》

学研教育みらいにおいて、多面的に学べるというところは、具体的にはどういったところでしょうか。

《選定副委員長》

教材が全体にわたって精選されているというのが調査員からの報告です。子どもたちが興味がわく題材を多数取り入れられています。題材も現在の話題に近い部分がさらに子どもたちの興味、関心を持つのではないかとということで推薦させてもらいました。

《新熊委員》

授業中に、人に対して優しくとか人を大切にする、自分を大切にするとか学ぼうと思いますが、授業中で分かったような発言とか提出物があつたとしても学校の生活や普段の日常生活では、行動できない子もいると思います。その辺教科

書で学んだことを日常生活で生かすように促すような部分があれば教えてください。

《選定副委員長》

道徳の教科は道徳の教科だけで完結するのではなく、教科を横断的と言われておりますので、今回学んだことをいろんな教科と関連させながら、日常生活でもどう生かしていけるのかというところを、教職員は繋げていくというのが大切なところではないかと思っています。

《奥野委員》

学研教育みらいでは、選定委員会の答申において、教材の冒頭に主題となるテーマ等を示さないことで、生徒が主体的に問題意識をもち、教材と向き合うことができる、となっています。例えば、教師の「ねらい」から子どもたちの意見が外れていったとき、軌道修正が必要となってくる場面もあると思います。その時には教師の力量が問われていく部分なのかとも思いますがいかがでしょうか。

《選定副委員長》

教師の力量を問われるのは、道徳に限らずどの教科も同じだと思いますが、ただ、道徳が新しく教科になったということで、それに向けて研修等も多く重ねております。それに伴い、教師の力量も上がってきていると思っております。

【採 決】

全委員一致により道徳の採択教科書を「学研教育みらい」とすることに決定しました。

《学校教育室長》

以上ですべての教科の採択が決定しました。
採択した中学校の教科用図書を読みあげます。

令和3年度中学校使用教科用図書

国語… 東京書籍
書写… 教育出版
地理… 帝国書院
歴史… 東京書籍
公民… 帝国書院
地図… 帝国書院
数学… 日本文教出版

理科… 啓林館
音楽（一般）… 教育芸術社
音楽（器楽合奏）… 教育芸術社
美術… 日本文教出版
保健体育… 東京書籍
技術… 開隆堂出版
家庭… 教育図書
英語… 東京書籍
道徳… 学研教育みらい

以上です。

これで、令和3年度中学校教科用図書の採択について終わります。

休憩：午後3時25分～
再開：午後3時35分

日程第4 議案第15号

羽曳野市立児童館運営委員会委員の選任について

《資料5》

●社会教育課長より資料に基づき、羽曳野市立児童館運営委員会委員の選任について説明があり、承認を求めました。

《社会教育課長》

羽曳野市立児童館運営委員会の構成員であります「白鳥小学校PTAの代表」が交代されましたので、新しい代表を児童館運営委員に選任するものでございます。

任期につきましては、現在の委員の任期が令和1年6月1日から令和3年5月31日まででございますので、ご承認いただきましたら、本日より、残任期間である令和3年5月31日までとなります。

《各委員意見・質問なし》

【採決】本件は、全委員一致により原案どおりに可決することに決定しました。

日程第5 議案第16号

令和2年度羽曳野市市民表彰候補者の推薦について

《資料6》

- 教育総務課長より資料に基づき、令和2年度羽曳野市市民表彰候補者の推薦について説明があり、承認を求めました。

《教育総務課長》

1枚目の「令和2年度羽曳野市市民表彰候補者総括表」につきましては、秘書課からの依頼を受け、2枚目の「羽曳野市表彰条例」、4枚目の「推薦要領」5枚目の「審査要領」、6枚目以降の「選考基準」等に則り、教育委員会事務局各課から提出されました候補者をまとめたものです。

今回は、自治功労者として12名の方と4つの団体を候補者とさせていただいております。

なお、今回は、特別有功者、有功者、善行者の候補者はございません。

《各委員意見・質問なし》

- 【採決】本件は、全委員一致により原案どおりに可決することに決定しました。

日程第6 議案第17号

後援名義の使用許可について

《資料7-1、資料7-2》

- 教育総務課長より教育長において専決した継続分の後援名義の使用許可について説明と報告がありました。 《資料7-1》

専決日令和2年7月21日、団体名はヒューマンアカデミー株式会社です。当申請団体及び当該事業については、後援名義使用許可実績のある団体、事業です。

昨年度、新規事業申請がされ、後援名義の使用を許可しました。昨年度、審議いただいた際、「実施内容が子どもたちの教育に役立つものなのか、また、勧誘等がなかったか等、参加者からの感想等も踏まえ、今後の申請の際に、再度審議してはどうでしょうか。」とのご意見をいただきました。

昨年度の実績報告書においても、参加者からも好評だったとの報告があり、

保護者や参加者からも、特に問い合わせや苦情等ありませんでした。
また、後援名義使用許可申請書において、誓約事項として、「この事業は、営利を目的とするものではありません。」と誓約をしていただいているため、専決処分において許可したものです。

《各委員意見・質問なし》

●一般財団法人 日本リーダー育成推進協議会

「子どもの潜在能力を引き出す脳科学」講座

《資料7-1、資料7-2》

教育総務課長より資料に基づき、事業の主催者、事業名、開催の趣旨等について説明がありました。

《多田委員》

どういう事業ですか。

《教育総務課長》

オンラインでの講座で、全国規模での実施ということです。

今後、このようなオンライン講座が増えてくるのかもしれませんが、そうなったときに、すべてのオンライン講座において、今後、後援名義を許可していくのかということもなかなか難しいのではないかとということもあり、近隣市の状況も鑑み、事務局としまして、今回は教育委員会としての後援名義について意見を述べさせていただきました。

《奥野委員》

よく分からない部分も多いので、その中では承認は難しいのではと思います。

《多田委員》

事業内容は問題ないとは思いますが、オンラインで実施されるということで、今後課題もあると思いますので承認は難しいと思います。

【採 決】 本件は、全委員一致により不許可とすることに決定しました。

日程第7 その他

○令和2年7月22日付で退任された麻野前教育長の月次報告について、教育総務課長より口頭にて報告がありました。

- (1) 6月20日に、羽曳野市ソフトボール連盟「市長杯大会」開会式が行われました。
- (2) 6月25日に、羽曳野市PTA連絡協議会新旧役員引継ぎ会が行われました。
- (3) 6月26日に、社会教育委員会議が行われました。
- (4) 7月3日に、大阪府都市教育長協議会7月定例会が行われました。
- (5) 7月6日に、第2回南河内地区人事協議会、第2回南河内地区市町村教育長連絡協議会、南河内地区教育長協議会研修会が行われました。
- (6) 7月7日に、羽曳野市公民館運営審議会が行われました。

○学校教育室副理事より、GIGAスクール構想に関するパソコン端末の整備について、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」において「児童生徒1人1台端末の整備スケジュールの加速」が閣議決定され、本市においても令和5年度までに順次整備予定であった国庫補助対象分の児童生徒の3分の2を今年度中に前倒しで整備、市の新型コロナウイルス感染症独自支援策として6月30日付の一般会計予算補正第8号において、残り3分の1についても予算措置がされ、今年度中に児童生徒1人1台となるパソコン端末を整備すること、また、パソコン端末の仕様書については、文部科学省の標準仕様に基づき策定を進め、副市長をはじめ、学校現場の代表者、教育委員会学校教育課職員、教育総務課職員、情報政策課職員等による仕様書選定会議において仕様書として決定し、今後、契約検査課にて8月に指名競争入札を執行し、仮契約締結、財産取得の議会上程の必要があるため、9月議会に上程し、市議会における議決後、本契約となり、令和3年3月末までに納品完了予定である旨、報告がありました。

○事務局より、今後の日程について連絡がありました。

教育長職務代理者より次回の8月定例教育委員会議を、8月19日（水）に予定することを通知しました。

[教育長職務代理者 閉会の挨拶]

閉会：午後4時00分